

目

次

I. 運 営 概 要

1. 設立の目的と事業方針	1
2. 沿革	1
3. 組織および事務分掌	2
4. 主な事業の一覧	3
5. 事務事業の概要（一般会計）	4
6. 施設と職員	7
施設の概要	7
配置図	8
職員の構成	9
職員名簿	10
7. 予算決算	11
平成16年度歳入決算（一般会計）	11
平成16年度歳出決算（一般会計）	11
8. 備品の整備状況	13
9. 研究課題評価	14
10. 疫学倫理審査	20
11. 行事記録	22
学会等への参加	22
研修への参加	23
所内研究発表会	23

II. 業 務 報 告

1. 管理室	25
1.1 総務管理グループ	25
1.2 企画情報グループ	25
2. 保健科学部	30
2.1 細菌研究グループ	30
2.2 ウイルス・生化学研究グループ	34
3. 生活科学部	38
3.1 食品衛生研究グループ	38
3.2 環境衛生研究グループ	45
4. 環境科学部	48
4.1 環境保健研究グループ	48
4.2 化学物質研究グループ	48
5. 環境保全部	50
5.1 大気環境研究グループ	50
5.2 水質環境研究グループ	54
5.3 生活環境研究グループ	59

Ⅲ. 調査研究

1. 調査研究

(1) ブロードバンド時代の環境情報システムに関する研究 (第4報)	
－ eラーニングの検討 －	63
(2) 光化学オキシダントの濃度分布に関する解析 (第3報)	
－ 上中地域におけるオキシダント濃度について －	68
(3) 福井県におけるアレルギー性疾患の実態調査とアレルギー性疾患の影響に関する研究	
－ 血清疫学調査について －	72
(4) 高齢者施設におけるインフルエンザワクチンの感染防御効果の検証 (第1報)	
－ 2003/2004シーズン －	78
(5) 平成16年度 環境中のフタル酸エステル類の調査研究	
－ 環境大気中および土壌中のフタル酸エステル類・アジピン酸エステルの濃度調査 －	84
(6) 平成16年度 事業所排出ガス等のフタル酸エステル類の調査研究	
－ 事業場排出ガス等のフタル酸エステル類等の濃度調査及び除去処理効率について －	90
(7) 山間部および高濃度水域におけるダイオキシン類の汚染実態と特徴	
－ 汚染由来の推定と都市部および沿岸部との比較 －	93
(8) 福井県における食品中のダイオキシン類について	108
(9) 福井県における母乳中ダイオキシン類濃度	113
(10) 福井県内の河川におけるアルキルフェノール類の動態と排出源	117
(11) 福井県内の河川におけるビスフェノールAの動態	123
(12) 県内河川における内分泌攪乱作用による生態影響の実態	
－ コイのビテロゲニンの測定 －	126
(13) 底泥からの窒素・リンの溶出メカニズムの解明 (第2報)	
－ 三方湖・久々子湖の場合 －	130

2. ノート

(1) 福井県内の下水流入水およびヒトから分離されたサルモネラにおける血清型、薬剤耐性 および遺伝子解析	138
(2) 下水処理場流入水からのEHEC 0157検出状況	
－ ヒト由来株との比較検討 －	143
(3) 特異中和抗体価を指標としたエコーウイルス13型に対する血清疫学調査	147
(4) 福井県産キノコの生理活性成分の検索	
－ アンジオテンシン変換酵素 (ACE) 阻害活性 －	151
(5) HT8-PCBを用いた1カラム方式によるダイオキシン類簡易分析法の検討	154
(6) マンネブ等の福井県内の河川における動態	158
(7) 天然素材を用いる河川水質浄化の基礎研究 (Ⅱ)	
－ スギ炭の焼成条件と性状・性能について －	160
(8) 水流機によるアオコの拡散・発生抑制試験 (第4報)	166
(9) 底泥からの窒素・リンの室内での溶出試験 (第2報)	168
(10) 超音波・オゾン発生装置によるアオコの除去・増殖抑制試験 (第7報)	171

3. 資料

(1) 続発した腸管出血性大腸菌0157感染症への対応	176
(2) 2004/2005シーズンの福井県のインフルエンザ	182
(3) リアルタイムPCR法導入によるノロウイルス検査迅速化の検証	189

IV. 発 表 抄 録

1. 誌上発表	195
2. 学会発表	196
3. 所内研究発表会	204

V. そ の 他

(1) 福井県衛生環境研究センター調査研究報告等投稿規程	209
------------------------------------	-----